

〈博物館学芸員養成課程科目〉

☆博物館概論

科目分類	110-411-11 (J)	授業コード	O33980
科目名称	☆博物館概論	単位数	2.0 単位
英文名称	Introduction to Museology	授業区分	講義
科目責任者	下川 雅弘	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	下川 雅弘	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 月曜日 13:00～14:30 水曜日 13:00～14:30 後期 月曜日 13:00～14:30 水曜日 13:00～14:30	研究室	10-706
授業概要	本講義では、博物館学とは何か、博物館の定義・種類・目的・機能についての概要を学習した後に、日本および諸外国の博物館の歴史、博物館を取り巻く現状と課題、学芸員の役割と実態について授業を行う。授業では課題解決型学習を行う。		
到達目標	1、博物館に関する基礎的な知識を修得する。 2、博物館および学芸員に課せられた役割とは何かについて理解できる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	下川 雅弘	【第 1 回】 予習 : 博物館の定義と目的について教科書の空欄を穴埋めする 授業 : 博物館の定義と目的 (教科書 2 頁から 5 頁) (課題解決型学習) 復習 : 博物館の定義と目的について要点を整理する	
2	下川 雅弘	【第 2 回】 予習 : 博物館学とは何かについて教科書の空欄を穴埋めする 授業 : 博物館学とは何か (教科書 6 頁から 7 頁) 復習 : 博物館学とは何かについて要点を整理する	
3	下川 雅弘	【第 3 回】 予習 : 博物館の基本的機能と学芸員の役割について教科書の空欄を穴埋めする 授業 : 博物館の基本的機能と学芸員の役割 (教科書 8 頁から 14 頁) (課題解決型学習) 復習 : 博物館の基本的機能と学芸員の役割について要点を整理する	
4	下川 雅弘	【第 4 回】 予習 : 博物館の種類について教科書の空欄を穴埋めする 授業 : 博物館の種類 (教科書 15 頁から 17 頁) (課題解決型学習) 復習 : 博物館の種類について要点を整理する	
5	下川 雅弘	【第 5 回】 予習 : 博物館を支える仕組みについて教科書の空欄を穴埋めする 授業 : 博物館を支える仕組み (教科書 18 頁から 20 頁) 復習 : 博物館を支える仕組みについて要点を整理する	
6	下川 雅弘	【第 6 回】 予習 : 博物館組織と博物館を支える人々について教科書の空欄を穴埋めする 授業 : 博物館組織と博物館を支える人々 (教科書 21 頁から 22 頁) 復習 : 博物館組織と博物館を支える人々について要点を整理する	
7	下川 雅弘	【第 7 回】 予習 : 博物館の起源と欧米の博物館の歴史について教科書の空欄を穴埋めする 授業 : 博物館の起源と欧米の博物館の歴史 (教科書 23 頁から 25 頁) 復習 : 博物館の起源と欧米の博物館の歴史について要点を整理する	
8	下川 雅弘	【第 8 回】 予習 : 日本の博物館の歴史について教科書の空欄を穴埋めする 授業 : 日本の博物館の歴史 (教科書 26 頁から 30 頁) 復習 : 日本の博物館の歴史について要点を整理する	
9	下川 雅弘	【第 9 回】 予習 : 文化財保護制度の歴史について教科書の空欄を穴埋めする 授業 : 文化財保護制度の歴史 (教科書 31 頁から 32 頁) 復習 : 文化財保護制度の歴史について要点を整理する	
10	下川 雅弘	【第 10 回】 予習 : 文化財保護の体系について教科書の空欄を穴埋めする 授業 : 文化財保護の体系 (教科書 33 頁から 39 頁) 復習 : 文化財保護の体系について要点を整理する	

11	下川 雅弘	【第 11 回】 予習 : 文化財保護と博物館について教科書の空欄を穴埋めする 授業 : 文化財保護と博物館 (教科書 40 頁から 43 頁) (課題解決型学習) 復習 : 文化財保護と博物館について要点を整理する						
12	下川 雅弘	【第 12 回】 予習 : 学校教育と博物館について教科書の空欄を穴埋めする 授業 : 学校教育と博物館 (教科書 44 頁から 45 頁) (課題解決型学習) 復習 : 学校教育と博物館について要点を整理する						
13	下川 雅弘	【第 13 回】 予習 : 生涯学習と博物館について教科書の空欄を穴埋めする 授業 : 生涯学習と博物館 (教科書 46 頁から 48 頁) (課題解決型学習) 復習 : 生涯学習と博物館について要点を整理する						
14	下川 雅弘	【第 14 回】 予習 : 博物館の現状と行政改革について教科書の空欄を穴埋めする 授業 : 博物館の現状と行政改革 (教科書頁 49 から 51 頁) (課題解決型学習) 復習 : 博物館の現状と行政改革について要点を整理する						
15	下川 雅弘	【第 15 回】 予習 : 期待される博物館について教科書の空欄を穴埋めする 授業 : 期待される博物館 (教科書 52 頁から 54 頁) 復習 : 期待される博物館について要点を整理する						
授業開始前学習	普段からできる限り多くの博物館を訪れることが望ましい。また、文部科学省令必修科目共通テキストをあらかじめ読んでおく。							
授業内課題のフィードバックの方法	提出課題に対しては、翌週以降に全体の講評や必要なコメントを行うとともに、個別の質問にも回答する。							
テキスト・教材	全国大学博物館学講座協議会西日本部会編『新時代の博物館学』(芙蓉書房出版) 駒沢女子大学教科書シリーズ『博物館概論』 駒沢女子大学講義ノートシリーズ『博物館実習』							
参考書								
評価の基準と方法	提出課題 70%、授業内テスト 30%により評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性の養成		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性の養成		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力の養成		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力の養成	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	△				◎	○	◎	
関連科目	「博物館経営論」「博物館資料論」「博物館資料保存論」「博物館展示論」「博物館教育論」「博物館情報・メディア論」「博物館実習」が文部科学省令必修科目として相互に関連する。							
その他	1 年次 4 月から学芸員養成課程に登録していることを履修の条件とする。条件に当てはまらない者がこの科目を履修登録した場合、本人の了解を得ずに登録が抹消されるので注意すること。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 60 時間 (4 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容	自治体史編纂の実務経験あり。博物館の概要や学芸員の役割などを講義する。							

科目分類	110-411-12 (J)		授業コード	034020
科目名称	☆博物館資料論		単位数	2.0 単位
英文名称	Museum Collection and Information Management		授業区分	講義
科目責任者	井本 悠紀		必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	井本 悠紀		開講時期	2 年
オフィスアワー	-		研究室	-
授業概要	本講義では、博物館資料に対する基本的な考え方を学習した後に、歴史・考古・民俗・美術資料を中心として、人文系博物館資料の収集理念、分類・整理・取り扱い、情報公開等の方法論を学ぶとともに、人文系博物館における調査研究活動の実際について授業を行う。授業では課題解決型学習を行う。			
到達目標	1、博物館資料の収集、整理保存、情報管理の方法等を習得する。 2、博物館資料に対する理論・知識・技術を含めた基礎的な能力を身に付ける。			
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回	複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容		
1	井本 悠紀	【第 1 回】 予習：博物館資料とは何かについて教科書で調べる 授業：博物館資料とは何か（教科書 94 頁から 96 頁） 復習：博物館資料とは何かについてノートに要点を整理する		
2	井本 悠紀	【第 2 回】 予習：博物館資料収集の理念と方法について教科書で調べる 授業：博物館資料収集の理念と方法（教科書 97 頁から 100 頁） 復習：博物館資料収集の理念と方法についてノートに要点を整理する		
3	井本 悠紀	【第 3 回】 予習：博物館資料の関連法規について教科書で調べる 授業：博物館資料の関連法規（教科書 102 頁から 103 頁） 復習：博物館資料の関連法規についてノートに要点を整理する		
4	井本 悠紀	【第 4 回】 予習：博物館資料の分類と整理方法について教科書で調べる 授業：博物館資料の分類と整理方法（教科書 103 頁から 110 頁） 復習：博物館資料の分類と整理方法についてノートに要点を整理する		
5	井本 悠紀	【第 5 回】 予習：興味ある博物館・美術館に足を運び、館の特徴を考えること 授業：博物館活動を考えるー展示企画にむけてー（教科書 94 頁から 110 頁）（課題解決型学習） 復習：講義内容についてノートに要点を整理する		
6	井本 悠紀	【第 6 回】 予習：博物館における調査・研究について教科書で調べる 授業：博物館における調査・研究（教科書 113 頁から 115 頁）（課題解決型学習） 復習：博物館における調査・研究についてノートに要点を整理する		
7	井本 悠紀	【第 7 回】 予習：博物館資料の調査・研究について教科書で調べる 授業：博物館資料の調査・研究（教科書 117 頁から 124 頁） 復習：博物館資料の調査・研究についてノートに要点を整理する		
8	井本 悠紀	【第 8 回】 予習：興味ある博物館資料について、展示会の観覧また図録等で調べる 授業：博物館活動を考えるー博物館資料の資料化と活用ー（教科書 122 頁から 124 頁）（課題解決型学習） 復習：博物館資料の活用についてノートに要点を整理する		
9	井本 悠紀	【第 9 回】 予習：資料の取り扱いについて教科書で調べる 授業：資料の取り扱い（教科書 127 頁から 131 頁） 復習：資料の取り扱いについてノートに要点を整理する		
10	井本 悠紀	【第 10 回】 予習：資料取り扱いについて教科書で調べる 授業：美術工芸品の取り扱い（教科書 127 頁から 129 頁） 復習：美術工芸品の取り扱いについてノートに要点を整理する		

11	井本 悠紀	【第 11 回】 予習：博物館資料の保存・修復について教科書で調べる 授業：博物館資料の保存・修復（教科書 137 頁から 138 頁） 復習：博物館資料の保存・修復についてノートに要点を整理する						
12	井本 悠紀	【第 12 回】 予習：博物館資料とデジタル化について教科書で調べる 授業：博物館資料とデジタル化（教科書 139 頁から 140 頁） 復習：博物館資料とデジタル化についてノートに要点を整理する						
13	井本 悠紀	【第 13 回】 予習：博物館資料の可能性について教科書で調べる 授業：博物館資料の可能性（教科書 141 頁から 143 頁） 復習：博物館資料の可能性についてノートに要点を整理する						
14	井本 悠紀	【第 14 回】 予習：博物館資料収集の理念から調査・研究までを復習する 授業：博物館活動を考える－展示企画発表－（課題解決形授業） 復習：発表を振り返り、博物館活動と資料について考える						
15	井本 悠紀	【第 15 回】 予習：博物館資料論で学習したすべての範囲を教科書で確認する 授業：博物館資料論で学習した内容の要点整理 復習：博物館資料論で学習した内容の要点をノートに整理する						
授業開始前学習	日頃から博物館に出向き、展示や諸活動を体験するなどして博物館・学芸員の仕事に興味を持つようにする。また展示を観覧するだけでなく、各館が抱える問題点など課題を見つける視点をもつことも大事である。							
授業内課題のフィードバックの方法	提出課題に対しては翌週以降に全体講評やコメントを行い、かつ必要に応じて個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	全国大学博物館学講座協議会西日本部会編『新時代の博物館学』（芙蓉書房出版）							
参考書								
評価の基準と方法	授業内試験・レポート（70%）、課題等（30%）							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性の養成		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性の養成		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力の養成		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力の養成	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当					◎	○	◎	△
関連科目	「博物館概論」「博物館経営論」「博物館資料保存論」「博物館展示論」「博物館教育論」「博物館情報・メディア論」「博物館実習」が文部科学省令必修科目として相互に関連する。							
その他	1 年次 4 月から学芸員養成課程に登録していることを履修の条件とする。条件に当てはまらない者がこの科目を履修登録した場合、本人の了解を得ずに登録が抹消されるので注意すること。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容	博物館学芸員としての実務経験を活かし、博物館資料の特性や課題などについて講義をおこなう。							

科目分類	110-411-12 (J)	授業コード	O80840
科目名称	博物館展示論	単位数	2.0 単位
英文名称	Museum Display Theory	授業区分	講義
科目責任者	亀川 泰照	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	亀川 泰照	開講時期	2 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	本講義では、博物館展示の歴史や社会的役割について学習した後に、展示資料の調査と選定、展示の設計、配置・導線計画、照明と音響、展示パネルや解説書の作成といった、展示に必要な技術や方法論について授業を行う。授業では感染症に対する安全性が確保できる場合に限り、ディスカッション、課題解決型学習を行う。		
到達目標	歴史的観点や教育論的観点から博物館の展示について学ぶとともに、人文系の博物館を想定しながら、展示の諸形態を理解し、展示の方法・技術を習得し、博物館展示に関する基礎的な能力を身に付ける。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	亀川 泰照	【第 1 回】 予習 : 展示の歴史について教科書で調べる (教科書 188 頁から 191 頁) 授業 : .オリエンテーション 授業の及び展示に関わる人々の見取り図の解説と展示の歴史 復習 : 展示の歴史についてノートに要点を整理する	
2	亀川 泰照	【第 2 回】 予習 : 展示の中立性について教科書で調べる (教科書 227 頁から 229 頁) 授業 : .展示の歴史・中立性 差別に関わる展示を紹介し、展示の歴史性や社会性・中立性をめぐる議論を学ぶ。また来館者と展示の関係も考える。 復習 : 展示の歴史・中立性についてノートに要点を整理する	
3	亀川 泰照	【第 3 回】 予習 : 展示の諸形態について教科書で調べる (教科書 215 頁から 226 頁) 授業 : 展示の目的と展示の諸形態 復習 : 特に人文系の展示についてノートに要点を整理する	
4	亀川 泰照	【第 4 回】 予習 : 展示の実践の準備 授業 : 展示の実践 受講者一人一人発表する。 復習 : 実践したことを振り返り反省点や考えたことをノートにまとめる	
5	亀川 泰照	【第 5 回】 予習 : 展示の構想と企画、設計と施行について教科書で調べる (教科書 194 頁から 200 頁) 授業 : 展示の構想と企画、設計と施行 具体例から、展示の行程を紹介し、基本的な展示の構成方法やパターンを学ぶ。 復習 : 展示の構想と企画、設計と施行についてノートに要点を整理する	
6	亀川 泰照	【第 6 回】 予習 : 展示資料の調査と収集について教科書で調べる (教科書 192 頁から 194 頁) 授業 : 展示資料の調査と収集 具体例から、展示資料の収集や博物館における調査・研究について考える。 復習 : 展示資料の調査と収集についてノートに要点を整理する	
7	亀川 泰照	【第 7 回】 予習 : 展示の環境と整備・展示作業について教科書で調べる (教科書 202 頁から 206 頁) 授業 : 展示の環境と整備・展示作業 具体例から、展示空間の構成にやケースの役割、資料借用などに関する基本的な在り方を学ぶ。 復習 : 展示の環境と整備・展示作業についてノートに要点を整理する	
8	亀川 泰照	【第 8 回】 予習 : 展示の広報について事前に配布ペーパーを読み、考える 授業 : 展示の広報 具体例を示しながら、照明の役割を学ぶ 復習 : 展示の照明と音響についてノートに要点を整理する	
9	亀川 泰照	【第 9 回】 予習 : 展示の照明について教科書で調べる (教科書 206 頁から 209 頁) 授業 : 展示の照明 具体例を示しながら、照明の役割を学ぶ 復習 : 展示の照明と音響についてノートに要点を整理する	

10	亀川 泰照	【第10回】 予習：展示と解説について教科書で調べる（教科書 210 頁から 212 頁） 授業：展示と解説 博物館の様々な情報伝達手段を念頭に、文字情報による情報伝達手段の特徴や方法、基本的な考え方を学ぶ。 復習：展示と解説についてノートに要点を整理する						
11	亀川 泰照	【第11回】 予習：展示解説書の作成について教科書で調べる（教科書 212 頁から 214 頁） 授業：展示解説書の作成 さまざまな図録のパターンを知り、展示解説書の機能、役割について基本的な考え方を学ぶ。 復習：展示解説書の作成についてノートに要点を整理する						
12	亀川 泰照	【第12回】 予習：展示と法令について教科書で調べる（教科書 200 頁から 201 頁） 授業：展示と法令 展示に関わる法令（博物館法・文化財保護法・著作権法等）について学ぶ。 復習：展示と法令についてノートに要点を整理する						
13	亀川 泰照	【第13回】 予習：展示と音響の関係について教科書で調べる（教科書 209 頁から 210 頁） 授業：展示と音響 音声（人・機材等）による情報伝達手段を紹介し、その方法等を学ぶ。また音響装置に関する考え方を知る。 復習：展示と音響についてノートに要点を整理する						
14	亀川 泰照	【第14回】 予習：展示の評価について教科書で調べる（教科書 229 頁から 231 頁） 授業：展示の評価 展示評価の意義と展示や博物館活動の改善について学ぶ。 復習：展示の評価についてノートに要点を整理する						
15	亀川 泰照	【第15回】 予習：博物館展示論で学習したすべての範囲を教科書で確認する（教科書 188 頁から 231 頁） 授業：博物館展示論で学習した内容のまとめ。あわせて今後の展示・博物館について考える 復習：博物館展示論で学習した内容の要点をノートに整理する						
授業開始前学習	普段からできる限り多くの博物館を訪れることが望ましい。また、日ごろから博物館・美術館・動物園・文化財に関するニュースをチェックしておくこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業内課題は、リアクションペーパーで提出してもらい、翌週以降に質問の回答やコメントを行う。							
テキスト・教材	全国大学博物館学講座協議会西日本部会編『新時代の博物館学』（芙蓉書房出版）							
参考書	柴正博『博物館と学芸員のおしごと【博物館概論】』（東海教育研究所、2023年）。 その他については、授業の中で随時紹介する。							
評価の基準と方法	授業内試験・レポート（70%）、課題等（30%）							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性の養成		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性の養成		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力の養成		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力の養成	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当					◎	○	◎	△
関連科目	「博物館概論」「博物館経営論」「博物館資料論」「博物館資料保存論」「博物館教育論」「博物館情報・メディア論」「博物館実習」が文部科学省令必修科目として相互に関連する。							
その他	1 年次 4 月から学芸員養成課程に登録していることを履修の条件とする。条件に当てはまらない者がこの科目を履修登録した場合、本人の了解を得ずに登録が抹消されるので注意すること。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）+ 予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容	区立の博物館（地域博物館）での実務経験を交えて講義する。							

科目分類	110-411-13 (J)		授業コード	O80810
科目名称	博物館資料保存論		単位数	2.0 単位
英文名称	Museum Resource Conservation Theory		授業区分	講義
科目責任者	井本 悠紀		必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	井本 悠紀		開講時期	3 年
オフィスアワー	-		研究室	-
授業概要	本講義では、博物館における資料保存の意義、資料の現状調査、資料の修理と修復、資料の梱包と輸送、資料の保存環境（劣化条件・災害対策・総合的有害生物管理等）、環境保護と博物館の役割等について、実際の博物館資料や施設を事例としながら授業を行う。授業では課題解決型学習を行う。			
到達目標	1、資料の保存に関する基礎的な能力を養う。 2、博物館における資料保存の基本を学び、展示環境・収蔵環境を科学的にとらえ、資料を良好な状態でつぎの世代に引き継いでいくための知識を習得する。			
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回	複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容		
1	井本 悠紀	【第 1 回】 予習：博物館資料保存の基本的理念について教科書で調べる 授業：博物館資料保存の基本的理念（教科書 146 頁から 148 頁） 復習：博物館資料保存の基本的理念についてノートに要点を整理する		
2	井本 悠紀	【第 2 回】 予習：博物館資料保存をめぐる法的・社会的環境について教科書で調べる 授業：博物館資料保存をめぐる法的・社会的環境（教科書 148 頁から 149 頁） 復習：博物館資料保存をめぐる法的・社会的環境についてノートに要点を整理する		
3	井本 悠紀	【第 3 回】 予習：博物館資料の種類と保存方法について教科書で調べる 授業：博物館資料の種類と保存方法（教科書 150 頁から 154 頁） 復習：博物館資料の種類と保存方法についてノートに要点を整理する		
4	井本 悠紀	【第 4 回】 予習：博物館資料の修理・修復について教科書で調べる 授業：博物館資料の修理・修復と模写・模造の歴史（教科書 156 頁から 158 頁） 復習：博物館資料の修理・修復と模写・模造の歴史についてノートに要点を整理する		
5	井本 悠紀	【第 5 回】 予習：博物館資料の二次資料について教科書で調べる 授業：博物館資料の二次資料（教科書 156 頁から 158 頁） 復習：博物館資料の二次資料についてノートに要点を整理する		
6	井本 悠紀	【第 6 回】 予習：収蔵・展示施設と保存環境について教科書で調べる 授業：収蔵・展示施設と保存環境（教科書 159 頁から 161 頁） 復習：収蔵・展示施設と保存環境についてノートに要点を整理する		
7	井本 悠紀	【第 7 回】 予習：科学的調査と保存について教科書で調べる 授業：科学的調査と保存（教科書 161 頁から 163 頁） 復習：科学的調査と保存についてノートに要点を整理する		
8	井本 悠紀	【第 8 回】 予習：資料保存の諸条件と劣化について教科書で調べる 授業：資料保存の諸条件と劣化（教科書 163 頁から 166 頁）（課題解決型学習） 復習：資料保存の諸条件と劣化についてノートに要点を整理する		
9	井本 悠紀	【第 9 回】 予習：生物被害に対する保全と保存について教科書で調べる 授業：生物被害に対する保全と保存（教科書 166 頁から 168 頁）（課題解決型学習） 復習：生物被害に対する保全と保存についてノートに要点を整理する		
10	井本 悠紀	【第 10 回】 予習：伝統的な保存方法について教科書で調べる 授業：伝統的な保存方法（教科書 35 頁から 37 頁） 復習：伝統的な保存方法についてノートに要点を整理する		

11	井本 悠紀	【第 11 回】 予習：資料の梱包と運搬方法について教科書で調べる 授業：資料の梱包と運搬方法（教科書 169 頁から 171 頁） 復習：資料の梱包と運搬方法についてノートに要点を整理する						
12	井本 悠紀	【第 12 回】 予習：地域資源としての博物館資料の保存と活用について教科書で調べる 授業：地域資源としての博物館資料の保存と活用（教科書 179 頁から 181 頁） 復習：地域資源としての博物館資料の保存と活用についてノートに要点を整理する						
13	井本 悠紀	【第 13 回】 予習：災害と博物館資料について教科書で調べる 授業：災害と博物館資料（教科書 181 頁から 184 頁）（課題解決型学習） 復習：災害と博物館資料についてノートに要点を整理する						
14	井本 悠紀	【第 14 回】 予習：環境保護と博物館の役割について教科書で調べる 授業：環境保護と博物館の役割（教科書 184 頁から 186 頁） 復習：環境保護と博物館の役割についてノートに要点を整理する						
15	井本 悠紀	【第 15 回】 予習：博物館資料保存論で学習したすべての範囲を教科書で確認する 授業：博物館資料保存論で学習した内容の要点整理 復習：博物館資料保存論で学習した内容についてノートに要点を整理する						
授業開始前学習	日頃から博物館に出向き、展示や諸活動を体験するなどして博物館・学芸員の仕事に興味を持つようにする。また展示を観覧するだけでなく、各館が抱える問題点など課題を見つける視点をもつことも大事である。							
授業内課題のフィードバックの方法	提出課題に対しては翌週以降に全体講評やコメントを行い、かつ必要に応じて個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	全国大学博物館学講座協議会西日本部会編『新時代の博物館学』（芙蓉書房出版）							
参考書								
評価の基準と方法	授業内試験・レポート（70%）、課題等（30%）							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい 教養力と人間性の養成		自己実現のためのコミュニ ケーション力と社会性の養成		社会的責務を果たすこと のできる専門力と判断力の養 成		文化の創造的担い手となる ための技術力と実践力の養 成	
学修指針	教養力	人間性	コミュニ ケーション 力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当					◎	○	◎	△
関連科目	「博物館概論」「博物館経営論」「博物館資料論」「博物館展示論」「博物館教育論」「博物館情報・メディア論」「博物館実習」が文部科学省令必修科目として相互に関連する。							
その他	1 年次 4 月から学芸員養成課程に登録していることを履修の条件とする。条件に当てはまらない者がこの科目を履修登録した場合、本人の了解を得ずに登録が抹消されるので注意すること。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした 教育内容	博物館学芸員としての実務経験を活かし、博物館資料の特性や課題などについて講義をおこなう。							

科目分類	110-411-13 (J)		授業コード	O80800	
科目名称	博物館経営論		単位数	2.0 単位	
英文名称	Museum Management Theory		授業区分	講義	
科目責任者	黒滝 香奈		必修・選択	履修ガイド参照	
担当教員	黒滝 香奈		開講時期	3 年	
オフィスアワー	-		研究室	-	
授業概要	本講義では、博物館経営の基盤となる博物館行政制度、博物館の財務、施設・設備、組織と職員等について学ぶとともに、博物館経営の使命と計画・評価、博物館の倫理と危機管理、マーケティングとパブリシティ活動、地域社会と博物館、他機関との連携等、博物館経営の実際について授業を行う。本授業は、グループワーク、プレゼンテーション、フィールドワークを伴う。				
到達目標	博物館の組織形態と活動面における適切な管理・運営方法について、具体的な事例を通して学び、博物館経営（ミュージアム・マネージメント）に関する基礎的な能力を身に付ける。				
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回	複数教員の場合の 授業形態	
授業 回数	担当者	授業の内容			
1	黒滝 香奈	【第 1 回】 予習 : 「博物館経営」という語句について調べ、イメージを獲得しておく。 授業 : ガイダンス～博物館経営とは～ 復習 : 配信された資料を再読し、授業内容の確認を行う。			
2	黒滝 香奈	【第 2 回】 予習 : 博物館経営の意義について教科書で調べる。 授業 : 博物館経営の意義 (教科書 56 頁から 58 頁) 復習 : 教科書を再読し、授業内容を確認する。			
3	黒滝 香奈	【第 3 回】 予習 : 博物館運営方法の制度的な変化について教科書で調べる。 授業 : 博物館運営方法の制度的な変化 (教科書 58 頁から 61 頁) 復習 : 教科書を再読し、授業内容を確認する。			
4	黒滝 香奈	【第 4 回】 予習 : ミュージアムマーケティングと博物館評価について教科書で調べる 授業 : ミュージアムマーケティングと博物館評価 (教科書 61 頁から 63 頁) 復習 : 教科書を再読し、授業内容を確認する。			
5	黒滝 香奈	【第 5 回】 予習 : 博物館の法と制度について教科書で調べる 授業 : 博物館の法と制度 (教科書 64 頁から 66 頁) 復習 : 教科書を再読し、授業内容を確認する。			
6	黒滝 香奈	【第 6 回】 予習 : 国・地方自治体の博物館行政について教科書で調べる。 授業 : 国・地方自治体の博物館行政 (教科書 66 頁から 69 頁) 復習 : 教科書を再読し、授業内容を確認する。			
7	黒滝 香奈	【第 7 回】 予習 : 博物館の運営組織について教科書で調べる。 授業 : 博物館の運営組織 (教科書 69 頁から 71 頁) 復習 : 教科書を再読し、授業内容を確認する。			
8	黒滝 香奈	【第 8 回】 予習 : 博物館施設の運営と管理について教科書で調べる。 授業 : 博物館施設の運営と管理 (教科書 72 頁から 75 頁) 復習 : 教科書を再読し、授業内容を確認する。			
9	黒滝 香奈	【第 9 回】 予習 : 今までの学習内容を振り返っておく。 授業 : 博物館経営に関する博物館調査① 事前準備 (グループワーク) 復習 : グループワークで出た意見を整理する。			
10	黒滝 香奈	【第 10 回】 予習 : 博物館の広報活動と学習支援について教科書で調べる。 授業 : 博物館と社会連携① 広報活動と学習支援 (教科書 76 頁から 79 頁) 復習 : 教科書を再読し、授業内容を確認する。			
11	黒滝 香奈	【第 11 回】 予習 : 博物館のネットワーク活動とホスピタリティー・サービスについて教科書で調べる。 授業 : 博物館と社会連携② ネットワーク活動とホスピタリティー・サービス (教科書 80 頁から 83 頁) 復習 : 教科書を再読し、授業内容を確認する。			

12	黒滝 香奈	【第12回】 予習：今までの学習内容を振り返っておく。 授業：博物館経営に関する博物館調査② まとめ（グループワーク） 復習：グループワークで出した意見を整理する。						
13	黒滝 香奈	【第13回】 予習：今までの学習内容を振り返っておく。 授業：博物館経営に関する博物館調査③ 発表（プレゼンテーション） 復習：グループワークで出した意見を整理する。						
14	黒滝 香奈	【第14回】 予習：博物館経営の実際と課題について教科書で確認する。 授業：博物館経営の実際と課題（教科書 84 頁から 91 頁） 復習：教科書を再読し、授業内容を確認する。						
15	黒滝 香奈	【第15回】 予習：博物館経営論で学習したすべての範囲を教科書で確認する 授業：博物館経営論で学んできたことの整理（レポートとグループ発表に対するフィードバック） 復習：教科書を再読し、授業内容を確認する。						
授業開始前学習	普段からできる限り多くの博物館を訪れることが望ましい。また、文部科学省令必修科目共通テキストをあらかじめ読んでおく。							
授業内課題のフィードバックの方法	毎回リアクションペーパーを記入してもらい、適宜質問への回答や授業の補足を行う。							
テキスト・教材	全国大学博物館学講座協議会西日本部会編『新時代の博物館学』（芙蓉書房出版）							
参考書	参考書は、授業の中で随時紹介する。							
評価の基準と方法	平常点（授業への参画度・課題提出）30%・プレゼンテーション30%・レポート40%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性の養成	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性の養成	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力の養成	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力の養成				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当					◎	○	◎	△
関連科目	「博物館概論」「博物館資料論」「博物館資料保存論」「博物館展示論」「博物館教育論」「博物館情報・メディア論」「博物館実習」が文部科学省令必修科目として相互に関連する。							
その他	1 年次 4 月から学芸員養成課程に登録していることを履修の条件とする。条件に当てはまらない者がこの科目を履修登録した場合、本人の了解を得ずに登録が抹消されるので注意すること。 なお、本授業ではグループ発表に向けて大学近辺の博物館を各自で見学してもらう。その際には、交通費（大学からを想定）と入館料、合わせて 1000 円程度は受講者負担となる。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容	博物館の実務経験あり。博物館経営の講義を行う。							

科目分類	110-411-12 (J)		授業コード	O80820	
科目名称	博物館教育論		単位数	2.0 単位	
英文名称	Museum Education Theory		授業区分	講義	
科目責任者	黒滝 香奈		必修・選択	履修ガイド参照	
担当教員	黒滝 香奈		開講時期	2・3 年	
オフィスアワー	-		研究室	-	
授業概要	本講義では、生涯教育の場、人材養成の場、地域教育の場、文化情報リテラシー教育の場としての博物館の意義・理念や、博物館教育の方針・評価について学ぶとともに、博物館の利用実態と学びの特性、博物館教育の実際について、具体的な事例をあげながら授業を行う。本授業は、グループワーク、プレゼンテーション、フィールドワークを伴う。				
到達目標	博物館における教育活動の重要性を学び、博物館の教育活動の基盤となる理論や実践に関する知識と方法を習得し、博物館の教育機能に関する基礎的な能力を身に付ける。				
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回	複数教員の場合の 授業形態	
授業 回数	担当者	授業の内容			
1	黒滝 香奈	【第 1 回】 予習 : 博物館法における博物館教育の位置付けを確認しておく (教科書 314 頁)。 授業 : ガイダンス～規矩における博物館教育～ 復習 : 配布資料を再読し、授業内容を整理する。			
2	黒滝 香奈	【第 2 回】 予習 : 世界の博物館における教育実践例を調べる。 授業 : 世界水準の博物館教育 (教科書 275 頁から 277 頁) 復習 : 教科書を再読し、授業内容を確認する。			
3	黒滝 香奈	【第 3 回】 予習 : 学芸員の教育的役割について調べる。 授業 : 近代教育史における博物館の教育的役割と学芸員の教育的役割 (教科書 272～274 頁、277～278 頁) 復習 : 教科書を再読し、授業内容を確認する。			
4	黒滝 香奈	【第 4 回】 予習 : 博学連携の実践例を調べる。 授業 : 博物館教育の目的① 博学連携 (教科書 281 頁から 283 頁) 復習 : 教科書を再読し、授業内容を確認する。			
5	黒滝 香奈	【第 5 回】 予習 : 生涯学習について教科書で調べる。 授業 : 博物館教育の目的② 生涯学習 (教科書 283 頁から 284 頁) 復習 : 教科書を再読し、授業内容を確認する。			
6	黒滝 香奈	【第 6 回】 予習 : 博物館ボランティアについて調べる。 授業 : ボランティアの養成 (教科書 279～280 頁) 復習 : 教科書を再読し、授業内容を確認する。			
7	黒滝 香奈	【第 7 回】 予習 : 展示と展示解説について教科書で調べる。 授業 : 教育の方法① 展示と展示解説 (教科書 286～286 頁) 復習 : 教科書を再読し、授業内容を確認する。			
8	黒滝 香奈	【第 8 回】 予習 : 様々な展示方法について調べる。 授業 : 教育の方法② ワークショップ、ハンズ・オン、アウトリーチ (教科書 287～292 頁) 復習 : 教科書を再読し、授業内容を確認する。			
9	黒滝 香奈	【第 9 回】 予習 : 子どものための博物館展示・展覧について教科書で調べる。 授業 : 子どものための博物館① 展示と展覧 (教科書 293～295 頁、302～305 頁) 復習 : 教科書を再読し、授業内容を確認する。			
10	黒滝 香奈	【第 10 回】 予習 : 今までの学習内容を振り返っておく。 授業 : 博物館教育活動の企画① 事前準備 (グループワーク) 復習 : グループワークで出た意見を整理する。			

11	黒滝 香奈	【第 11 回】 予習 : 子どものための各種館園における展示について調べる。 授業 : 子どものための博物館② 各種館園における展示 (教科書 295~302 頁) 復習 : 教科書を再読し、授業内容を確認する。						
12	黒滝 香奈	【第 12 回】 予習 : 教育目標と計画・評価について教科書で調べる 授業 : 教育目標と計画・評価 (教科書 306 頁から 308 頁) 復習 : 教科書を再読し、授業内容を確認する。						
13	黒滝 香奈	【第 13 回】 予習 : 今までの学習内容を振り返っておく。 授業 : 博物館教育活動の企画② まとめ (グループワーク) 復習 : グループワークで出た意見を整理する。						
14	黒滝 香奈	【第 14 回】 予習 : 今までの学習内容を振り返っておく。 授業 : 博物館教育活動の企画③ 発表 (プレゼンテーション) 復習 : グループワークで出た意見を整理する。						
15	黒滝 香奈	【第 15 回】 予習 : これまで学習したすべての範囲を教科書で確認する。 授業 : 博物館教育の課題と展望 (教科書 309~311 頁) とレポート課題へのフィードバック 復習 : 教科書を再読し、授業内容を確認する。						
授業開始前学習	普段からできる限り多くの博物館を訪れることが望ましい。また、文部科学省令必修科目共通テキストをあらかじめ読んでおく。							
授業内課題のフィードバックの方法	毎回アクションペーパーを記入してもらい、適宜質問への回答や授業の補足を行う。							
テキスト・教材	全国大学博物館学講座協議会西日本部会編『新時代の博物館学』(芙蓉書房出版)							
参考書								
評価の基準と方法	平常点 (授業への参画度・課題提出) 30%、プレゼンテーション 30%、レポート 40%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい 教養力と人間性の養成	自己実現のためのコミュニ ケーション力と社会性の養成	社会的責務を果たすこと のできる専門力と判断力の養 成	文化の創造的担い手となる ための技術力と実践力の養 成				
学修指針	教養力	人間性	コミュニ ケーション 力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当					◎	○	◎	△
関連科目	「博物館概論」「博物館経営論」「博物館資料論」「博物館資料保存論」「博物館展示論」「博物館情報・メディア論」「博物館実習」が文部科学省令必修科目として相互に関連する。							
その他	1 年次 4 月から学芸員養成課程に登録していることを履修の条件とする。条件に当てはまらない者がこの科目を履修登録した場合、本人の了解を得ずに登録が抹消されるので注意すること。 なお、本授業ではグループ発表に向けて大学近辺の博物館を各自で見学してもらう。その際には、交通費 (大学からを想定) と入館料を合わせて 1000 円程度は受講者負担となる。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 60 時間 (4 時間×15 週)							
実務経験を活かした 教育内容	博物館の実務経験あり。博物館の教育活動などを講義する。							

科目分類	110-411-12 (J)		授業コード	O80830	
科目名称	博物館情報・メディア論		単位数	2.0 単位	
英文名称	Museum Information and Media Theory		授業区分	講義	
科目責任者	小山 貴子		必修・選択	履修ガイド参照	
担当教員	小山 貴子		開講時期	2・3 年	
オフィスアワー	-		研究室	-	
授業概要	本講義では、博物館における情報・メディアの歴史と意義、博物館活動と情報ネット化の現状を踏まえ、博物館資料の情報化（データベースの作成、マルチメディアの活用等）やデジタル情報発信の基本を学ぶとともに、著作権や個人情報等、博物館における知的財産の扱いについて授業を行う。				
到達目標	博物館における情報の意義と活用方法、情報発信の課題等について学び、博物館における情報の提供と活用に関する基礎的な能力を身に付ける。				
アクティブ・ラーニング 型授業	無	全授業回数	15 回	複数教員の場合の 授業形態	
授業 回数	担当者	授業の内容			
1	小山 貴子	【第 1 回】 予習 : デジタルアーカイブの構築について教科書で調べる 授業 : デジタルアーカイブの構築 復習 : デジタルアーカイブの構築についてノートに要点を整理する			
2	小山 貴子	【第 2 回】 予習 : 多様な博物館資料と情報について教科書で調べる 授業 : 多様な博物館資料と情報 復習 : 多様な博物館資料と情報についてノートに要点を整理する			
3	小山 貴子	【第 3 回】 予習 : 整備された情報と活用手段について教科書で調べる 授業 : 整備された情報と活用手段 復習 : 整備された情報と活用手段についてノートに要点を整理する			
4	小山 貴子	【第 4 回】 予習 : マルチメディアと博物館について教科書で調べる 授業 : マルチメディアと博物館 復習 : マルチメディアと博物館についてノートに要点を整理する			
5	小山 貴子	【第 5 回】 予習 : 管理情報と研究情報について教科書で調べる 授業 : 管理情報と研究情報 復習 : 管理情報と研究情報についてノートに要点を整理する			
6	小山 貴子	【第 6 回】 予習 : 博物館資料のドキュメンテーションについて教科書で調べる 授業 : 博物館資料のドキュメンテーション 復習 : 博物館資料のドキュメンテーションについてノートに要点を整理する			
7	小山 貴子	【第 7 回】 予習 : 博物館資料とデータベースについて教科書で調べる 授業 : 博物館資料とデータベース 復習 : 博物館資料とデータベースについてノートに要点を整理する			
8	小山 貴子	【第 8 回】 予習 : 情報伝達手段としてのメディア媒体について教科書で調べる 授業 : 情報伝達手段としてのメディア媒体 復習 : 情報伝達手段としてのメディア媒体についてノートに要点を整理する			
9	小山 貴子	【第 9 回】 予習 : 博物館における情報展示について教科書で調べる 授業 : 博物館における情報展示 復習 : 博物館における情報展示についてノートに要点を整理する			
10	小山 貴子	【第 10 回】 予習 : 博物館外への情報サービスの実際について教科書で調べる 授業 : 博物館外への情報サービスの実際 復習 : 博物館外への情報サービスの実際についてノートに要点を整理する			
11	小山 貴子	【第 11 回】 予習 : 博物館における情報公開と個人情報の保護について教科書で調べる 授業 : 博物館における情報公開と個人情報の保護 復習 : 博物館における情報公開と個人情報の保護についてノートに要点を整理する			

12	小山 貴子	【第 12 回】 予習 : 博物館の展示情報技術について教科書で調べる 授業 : 博物館の展示情報技術 復習 : 博物館の展示情報技術についてノートに要点を整理する						
13	小山 貴子	【第 13 回】 予習 : 博物館と知的財産権について教科書で調べる 授業 : 博物館と知的財産権 復習 : 博物館と知的財産権についてノートに要点を整理する						
14	小山 貴子	【第 14 回】 予習 : 博物館情報・メディアの今後の課題と展望について教科書で調べる 授業 : 博物館情報・メディアの今後の課題と展望 復習 : 博物館情報・メディアの今後の課題と展望についてノートに要点を整理する						
15	小山 貴子	【第 15 回】 予習 : 博物館情報・メディア論で学習したすべての範囲を教科書で確認する 授業 : 博物館情報・メディア論で学習した内容の要点整理 復習 : 博物館情報・メディア論で学習した内容の要点をノートに整理する						
授業開始前学習	普段からできる限り多くの博物館を訪れることが望ましい。また、文部科学省令必修科目共通テキストをあらかじめ読んでおく。							
授業内課題のフィードバックの方法	次回授業開始時にコメントに関する講評（主に質問への回答、フィードバック）を行う。							
テキスト・教材	参考書として全国大学博物館学講座協議会西日本部会編『新時代の博物館学』（芙蓉書房出版）							
参考書								
評価の基準と方法	授業内試験・レポート（60%）、平常点（授業態度・課題提出）（40%）							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性の養成		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性の養成		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力の養成		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力の養成	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当					◎	○	◎	△
関連科目	「博物館概論」「博物館経営論」「博物館資料論」「博物館資料保存論」「博物館展示論」「博物館教育論」「博物館実習」が文部科学省令必修科目として相互に関連する。							
その他	1 年次 4 月から学芸員養成課程に登録していることを履修の条件とする。条件に当てはまらない者がこの科目を履修登録した場合、本人の了解を得ずに登録が抹消されるので注意すること。 また、参考書としてテキストを使用するが、授業の進捗によって内容を変更することもある。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）+ 予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容	博物館の実務経験あり。博物館資料の情報化・デジタル情報発信などを講義する。							

☆博物館実習 A (見学実習) / 博物館実習 A

科目分類	110-411-22 (J)	授業コード	O80771
科目名称	☆博物館実習 A (見学実習) / 博物館実習 A	単位数	1.0 単位
英文名称	Museum Training A (Tour training)	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	下川 雅弘	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	下川 雅弘	開講時期	2 年
オフィスアワー	前期 月曜日 13:00~14:30 水曜日 13:00~14:30 後期 月曜日 13:00~14:30 水曜日 13:00~14:30	研究室	10-706
授業概要	本実習(見学実習)には、教員が引率するものと、学生が単独で訪れるものがある。どちらの見学でも、博物館ごとに特定のテーマ(展示物の配置、照明と採光、展示資料の解説等)を設定したレポートを課す。見学に訪れた博物館の学芸員等から直接話を聞くことにより、学芸員の仕事とはどのようなものかについて考える。授業はグループワーク・発表・フィールドワークを中心に行う。		
到達目標	博物館の実態や展示の仕方を学ぶという観点から、さまざまな博物館を見学し、他の博物館に関する科目で修得した知識について、さらに理解を深めることができる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有	全授業回数	12 回
			複数教員の場合の授業形態
授業回数	担当者	授業の内容	
1	下川 雅弘	【第 1 回】 予習 : シラバスを読み、学修内容を確認する 授業 : ガイダンス / 自治体直営型博物館と公設民営型博物館の公立博物館について 復習 : グループと前期担当の公立博物館を決定する	
2	下川 雅弘	【第 2 回】 予習 : 前期担当となった公立博物館のホームページ分析課題と博物館見学課題を提出する 授業 : 公立博物館のグループ発表の準備 (グループワーク) 復習 : グループ発表のスライドを完成させる	
3	下川 雅弘	【第 3 回】 予習 : 前期担当となった公立博物館のホームページ分析課題と博物館見学課題を提出する 授業 : 公立博物館のグループ発表の準備 (* 予備日) (グループワーク) 復習 : グループ発表のスライドを完成させる	
4	下川 雅弘	【第 4 回】 予習 : 前期担当となった公立博物館のスライドを提出する 授業 : 公立博物館のグループ発表 (グループワーク・発表) 復習 : 自分の考えを整理して提出する	
5	下川 雅弘	【第 5 回】 予習 : 担当となった公立博物館のスライドを提出する 授業 : 公立博物館のグループ発表 (* 予備日) (グループワーク・発表) 復習 : 自分の考えを整理して提出する / 公立博物館の前期レポート課題を提出する	
6	下川 雅弘	【第 6 回】 予習 : 正課学外活動の事前学習課題を提出する 授業 : 正課学外活動【博物館見学実習】「公立博物館またはテーマ型博物館を訪ねる」(フィールドワーク) 復習 : 正課学外活動で得た情報を「実習ノート」にメモする	
7	下川 雅弘	【第 7 回】 予習 : 正課学外活動の成果を整理する 授業 : 正課学外活動の学びの総括 (授業内レポート課題の執筆) / 学校法人運営の大学博物館と宗教法人運営の寺社宝物館について 復習 : 「博物館実習日誌」(『博物館実習』テキスト) に必要事項を記入する / グループと後期担当の大学博物館・寺社宝物館を決定する	
8	下川 雅弘	【第 8 回】 予習 : 後期担当となった大学博物館・寺社宝物館のホームページ分析課題と博物館見学課題を提出する 授業 : 大学博物館・寺社宝物館のグループ発表の準備 (グループワーク) 復習 : グループ発表のスライドを完成させる	
9	下川 雅弘	【第 9 回】 予習 : 後期担当となった大学博物館・寺社宝物館のホームページ分析課題と博物館見学課題を提出する 授業 : 大学博物館・寺社宝物館のグループ発表の準備 (* 予備日) (グループワーク) 復習 : グループ発表のスライドを完成させる	
10	下川 雅弘	【第 10 回】 予習 : 担当となった大学博物館・寺社宝物館のスライドを提出する 授業 : 大学博物館・寺社宝物館のグループ発表 (グループワーク・発表) 復習 : 自分の考えを整理して提出する	

11	下川 雅弘	【第 11 回】 予習 : 担当となった大学博物館・寺社宝物館のスライドを提出する 授業 : 大学博物館・寺社宝物館のグループ発表 (* 予備日) (グループワーク・発表) 復習 : 自分の考えを整理して提出する / 大学博物館・寺社宝物館の後期レポート課題を提出する						
12	下川 雅弘	【第 12 回】 予習 : 「3 年生に向けたガイダンス」のプリントを読んでおく 授業 : 3 年生に向けたガイダンス 復習 : 「博物館実習日誌」(『博物館実習』テキスト) に必要事項を記入する						
授業開始前学習	東京近郊や実家の近くにどのような博物館があるのか調べておくとともに、普段からできる限り多くの博物館を訪れ、理想的な博物館とはどのようなものか、自分なりの考えをまとめておくことが望ましい。							
授業内課題のフィードバックの方法	課題・発表に対して、全体の講評や必要なコメントを行うとともに、個別の質問にも回答する。							
テキスト・教材	駒沢女子大学講義ノートシリーズ『博物館実習』							
参考書								
評価の基準と方法	事前学習課題 40%、レポート 30%、授業内テスト 30%により評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性の養成	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性の養成	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力の養成	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力の養成				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当			△			○	◎	◎
関連科目	「博物館概論」「博物館経営論」「博物館資料論」「博物館資料保存論」「博物館展示論」「博物館教育論」「博物館情報・メディア論」が文部科学省令必修科目として相互に関連する。							
その他	見学実習のうち 1 回を、教員が引率する正課学外活動として夏期休暇期間中の土曜日 (予定) に実施する (交通費は自己負担)。 1 年次 4 月から学芸員養成課程に登録していることを履修の条件とする。条件に当てはまらない者がこの科目を履修登録した場合、本人の了解を得ずに登録が抹消されるので注意すること。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容	自治体史編纂の実務経験あり。博物館の見学実習のための指導を行う。							

☆博物館実習 B (実務実習) / 博物館実習 B

科目分類	110-411-23 (J)	授業コード	O80782
科目名称	☆博物館実習 B (実務実習) / 博物館実習 B	単位数	1.0 単位
英文名称	Museum Training B (Practical training)	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	皆川 義孝	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	皆川 義孝	開講時期	3 年
オフィスアワー	前期 火曜日 13:00~16:00 後期 火曜日 13:00~16:00	研究室	10-507
授業概要	本実習 (実務実習) では、まず館園実習に向けた心構えとして、資料の取り扱いに関する注意点を十分理解するとともに、学内における事前の訓練として、博物館の資料や展示物を実際に扱う際に必要な技術や方法論を学ぶ。授業は実習を中心に行う。		
到達目標	館園実習に向けて、博物館等の資料の取り扱い、収集・整理・保存・分類等の方法、調査研究の手法等を理解できる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	11 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	皆川 義孝	【第 1 回】 予習 : シラバスを読み、学修内容を確認する 授業 : 事前指導① 実習での注意点 復習 : 「博物館実習日誌」(『博物館実習』テキスト) に必要事項を記入する	
2	皆川 義孝	【第 2 回】 予習 : 文献史料等の調査カード作成と保管について調べる 授業 : 資料の整理① 文献史料等の調査カード作成と保管 (実習) × 2 復習 : 「博物館実習日誌」(『博物館実習』テキスト) に必要事項を記入する	
3	皆川 義孝	【第 3 回】 予習 : 文献史料等の調査カード作成と保管について調べる 授業 : 資料の整理② 文献史料等の調査カード作成と保管 (実習) × 2 復習 : 「博物館実習日誌」(『博物館実習』テキスト) に必要事項を記入する	
4	皆川 義孝	【第 4 回】 予習 : 文献史料等の調査カード作成と保管について調べる 授業 : 資料の整理③ 文献史料等の調査カード作成と保管 (実習) × 2 復習 : 「博物館実習日誌」(『博物館実習』テキスト) に必要事項を記入する	
5	皆川 義孝	【第 5 回】 予習 : 文献史料等の調査カード作成と保管について調べる 授業 : 資料の整理④ 文献史料等の調査カード作成と保管 (実習) × 2 復習 : 「博物館実習日誌」(『博物館実習』テキスト) に必要事項を記入する	
6	皆川 義孝	【第 6 回】 予習 : 文献史料等の調査カード作成と保管について調べる 授業 : 資料の整理⑤ 文献史料等の調査カード作成と保管 (実習) × 2 復習 : 「博物館実習日誌」(『博物館実習』テキスト) に必要事項を記入する	
7	皆川 義孝	【第 7 回】 予習 : 文献史料・美術資料 (卷子装、折本装、冊子装・軸装等) の取り扱いについて調べる 授業 : 資料の取り扱い 文献史料・美術資料 (卷子装、折本装、冊子装・軸装等) の取り扱い (実習) × 2 復習 : 「博物館実習日誌」(『博物館実習』テキスト) に必要事項を記入する	
8	皆川 義孝	【第 8 回】 予習 : 博物館資料の整理と清掃について調べる 授業 : 博物館実習館の資料整理と清掃 (実習) 復習 : 「博物館実習日誌」(『博物館実習』テキスト) に必要事項を記入する	
9	皆川 義孝	【第 9 回】 予習 : カメラの使い方・ライティングと屋内撮影について調べる 授業 : 資料の記録化 カメラの使い方・ライティングと屋内撮影 (実習) × 2 復習 : 「博物館実習日誌」(『博物館実習』テキスト) に必要事項を記入する	
10	皆川 義孝	【第 10 回】 予習 : 「4 年次館園実習に向けたガイダンス」のプリントを読んでおく 授業 : 4 年生との交流会 / 4 年次館園実習に向けたガイダンス 復習 : 館園実習先に関するアンケートに回答する	
11	皆川 義孝	【第 11 回】 予習 : 実務実習の成果を整理する 授業 : 事後指導① 事後課題レポートの執筆 復習 : 「博物館実習日誌」(『博物館実習』テキスト) に必要事項を記入する	

授業開始前学習	普段からできる限り多くの博物館を訪れることが望ましい。また、文部科学省令必修科目共通テキストを復習しておく。							
授業内課題のフィードバックの方法	実習に対して翌週以降に全体の講評や必要なコメントを行うとともに、個別の質問にも回答する。							
テキスト・教材	駒沢女子大学講義ノートシリーズ『博物館実習』							
参考書								
評価の基準と方法	平常点40%、博物館実習日誌・実習ノート30%、事後課題レポート30%により評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性の養成		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性の養成		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力の養成		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力の養成	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当			△			○	◎	◎
関連科目	「博物館概論」「博物館経営論」「博物館資料論」「博物館資料保存論」「博物館展示論」「博物館教育論」「博物館情報・メディア論」が文部科学省令必修科目として相互に関連する。							
その他	1年次4月から学芸員養成課程に登録していることを履修の条件とする。条件に当てはまらない者がこの科目を履修登録した場合、本人の了解を得ずに登録が抹消されるので注意すること。							
予習・復習の所要時間	講義時間30時間(2時間×15週) + 予習・復習時間15時間(1時間×15週)							
実務経験を活かした教育内容	博物館の実務経験あり。博物館の実務等を講義する。							

☆博物館実習 C (館園実習) / 博物館実習 C

科目分類	110-411-24 (J)	授業コード	O80790
科目名称	☆博物館実習 C (館園実習) / 博物館実習 C	単位数	1.0 単位
英文名称	Museum Training C (On-site training)	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	下川 雅弘	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	下川 雅弘	開講時期	4 年
オフィスアワー	前期 月曜日 13:00~14:30 水曜日 13:00~14:30 後期 月曜日 13:00~14:30 水曜日 13:00~14:30	研究室	10-706
授業概要	本実習 (館園実習) では、実際の博物館において、各博物館が定めた期間、資料の収集・整理・保存・調査研究・展示普及等の実務を体験する。事前には実習に当たっての心構え等についての指導を、事後には実習の反省・自己評価等をもとに、課題を解決するための指導を、それぞれ実施する。授業は実習を中心に行う。		
到達目標	1. 博物館の運営理念や業務の流れについて理解を深めることができる。 2. 学芸員としての責任感や心構えを身に付ける。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	9 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	下川 雅弘	【第 1 回】 予習 : シラバスを読み、学修内容を確認する 授業 : 事前指導② 館園実習の注意事項 復習 : 「博物館実習日誌」(『博物館実習』テキスト) に必要事項を記入する	
2	下川 雅弘	【第 2 回】 予習 : 館園実習の申し込みに必要な書類を準備する 授業 : 館園実習の準備 (個別対応) 復習 : 館園実習の申し込みに必要な書類を送付する	
3	下川 雅弘	【第 3 回】 予習 : 館園実習の申し込みに必要な書類を準備する 授業 : 館園実習の準備 (個別対応) (* 予備日) 復習 : 館園実習の申し込みに必要な書類を送付する	
4	館園実習担当学芸員	【第 4 回】 * 計 40 時間程度以上の館園実習を受ける (以下は実習の一例) 収集された博物館資料の整理保存・調査研究に関する実務 ・所蔵資料の観察、計測 ・所蔵資料の写真撮影 ・資料台帳の作成、データ入力 ・所蔵資料の保管 ・所蔵資料の調査研究の方法論 所蔵資料の展示普及に関する実務 ・提示された展示企画書の分析と考察 ・展示企画書に沿ったパネル・キャプション類作成等の実務 ・展示企画書に沿った列品・ライティング等の実務 ・展示シート作成等の実務 ・展示解説等の実務	
5	下川 雅弘	【第 5 回】 予習 : 館園実習の終了をメールで報告し、「博物館実習日誌」(『博物館実習』テキスト) と「博物館実習修了報告書 (評価表)」を提出する 授業 : 館園実習の報告 (個別対応) 復習 : 実習成果報告書を提出する	
6	下川 雅弘	【第 6 回】 予習 : 館園実習の終了をメールで報告し、「博物館実習日誌」(『博物館実習』テキスト) と「博物館実習修了報告書 (評価表)」を提出する 授業 : 館園実習の報告 (個別対応) (* 予備日) 復習 : 実習成果報告書を提出する	
7	下川 雅弘	【第 7 回】 予習 : 館園実習の終了をメールで報告し、「博物館実習日誌」(『博物館実習』テキスト) と「博物館実習修了報告書 (評価表)」を提出する 授業 : 館園実習の報告 (個別対応) (* 予備日) 復習 : 実習成果報告書を提出する	
8	下川 雅弘	【第 8 回】 予習 : 発表の準備をする 授業 : 実習成果報告会 (発表) / 3 年生との交流会 復習 : 自分の考えを整理して提出する	

9	下川 雅弘	【第9回】 予習：館園実習の成果を整理する 授業：事後指導② 事後課題レポートの執筆 復習：「博物館実習日誌」（『博物館実習』テキスト）に必要事項を記入する						
授業開始前学習	普段からできる限り多くの博物館を訪れることが望ましい。また、文部科学省令必修科目共通テキストを復習しておく。							
授業内課題のフィードバックの方法	実習に対して全体の講評や必要なコメントを行うとともに、個別の質問にも回答する。							
テキスト・教材	駒沢女子大学講義ノートシリーズ『博物館実習』							
参考書								
評価の基準と方法	博物館実習日誌・実習ノート・実習先からの博物館実習修了報告書（評価表）等50%、実習成果報告20%、事後課題レポート30%により評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性の養成		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性の養成		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力の養成		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力の養成	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当			△			○	◎	◎
関連科目	「博物館概論」「博物館経営論」「博物館資料論」「博物館資料保存論」「博物館展示論」「博物館教育論」「博物館情報・メディア論」が文部科学省令必修科目として相互に関連する。							
その他	①博物館実習 C（館園実習）を除く省令必修科目の単位がすべて修得済みであること、②博物館実習 C（館園実習）を除く省令必修科目の GPA の平均が 2.0 以上であること、③すべてのガイダンスに遅刻なく出席していること、④実習費がかかる博物館で実習を受ける場合、定められた期間内に受講料（おおむね 10,000 円前後）を納入すること、以上①～④のすべてを満たしていることを、履修要件とする。履修要件に当てはまらない者がこの科目を履修登録した場合、本人の了解を得ずに登録が抹消されるので注意すること。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容	自治体史編纂の実務経験あり。博物館での館園実習のための指導、講義を行う。							